

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年7月19日 No.66

あと2週間！世界大会成功へ総力を

代表派遣、資材普及で最終盤の奮闘を

世界大会まであと2週間！2010年NPT再検討会議にむけ、核兵器廃絶の国際行動キャンペーンを開始する歴史的な大会として、全都道府県、全中央団体の総力をあげた奮闘で大きく成功させましょう。

18日、東京での最後の大会運営委員会がひらかれ、世界から政府代表、NGO代表の参加が紹介されました。28カ国から86名の海外代表、うち国連・政府代表として、セルジオ・デュアルテ国連軍縮担当上級代表をはじめ、エジプト、キューバ、ノルウェー、ベネズエラ、アラブ連盟、マレーシア（招請中）が決まっています。国内からも広島・秋葉忠利市長、長崎・田上富久市長をはじめ、日本被団協から田中熙巳事務局長、坪井直代表委員など多彩な人々が参加、報告・挨拶される予定となっています。内外の期待にこたえ、大きな成功をかちとるため、代表派遣とパンフ・バッジの資材普及に力をつくしましょう。

広島・秋葉市長4日、長崎・田上市長8日あいさつ

広島・秋葉市長は4日開会総会で、長崎・田上市長は8日国際交流フォーラムで各々挨拶されることが決まりました。両市長のメッセージ（抜粋）を以下に紹介します。

秋葉市長

21世紀は、市民の力で問題を解決できる時代です。こうした意味から、本大会の開催は誠に意義深く、その取組に深く敬意を表します。今後とも、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け、私たちとともに行動して下さることを心から期待いたします。



田上市長

世界から核兵器をなくしていくためには、平和の尊さ、大切さを人々が理解し、それを世代や国境を越えて多くの人たちと共有することが重要だと考えています。「原水爆禁止2008年世界大会」を契機に多くの人々が核兵器廃絶への取り組みに理解を深め、行動して下さることを願っております。



青年各地で奮闘 ありづる行動 募金活動多岐に亘る一環、東京などなど

ピース・バス・ちばー目標40へ今30名

「靖国」の映画上映会や元プロボクサーと語る会など2回のプレ企画も成功させ、勢いをつけています。募金活動も青年自身で大奮闘。平和行進で6万、母親大会で16万など、頑張る青年に協力したくなるような動きになっています。

東京学生組織100名目標で今50名

和光大では9条の会を中心に学内で折り鶴宣伝行動を3日間連続で開催。フリーマーケットとトン汁販売も行い、学生にすごい反応。集まった鶴は3日間で256羽です。「これって原水禁大会ですか」と、声をかけてくれるなど6人の参加確認となりました。